



阿南市水井町で新種のカタツムリを発見 名称は「アナムシオイガイ」



阿南市水井町の山林で、新種のカタツムリ「アナムシオイガイ」が発見され、1月22日に市役所で県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンターと共同記者会見を行いました。「アナムシオイガイ」は、殻高が3.5ミリ程度と小さく、殻の背面に虫を負っているように見えるのが特徴で、石灰岩地帯の落ち葉の下や石の間などに生息する希少生物です。岩浅市長は「新種のカタツムリが世界で初めて確認され、名前の一部にアナムの名称がつけられたことは新年の明るい話題。研究員の皆さまの研究成果に敬意を表します。」とあいさつ。同センター専門研究員の松田春菜さんから発見の経緯などが報告されました。

防災パンフレット「福井町災害の教訓」 大阪大学大学院が福井町に全戸配布



本市と大阪大学大学院との連携事業で、平成23年9月に福井町湊地区で実施したヒアリング調査やアンケート調査などをもとに作成した防災パンフレット「福井町災害の教訓」が完成し、福井町全戸(775戸)に配布されました。パンフレットには、昭和南海地震やチリ地震津波に関する体験談や生活防災の視点による教訓がまとめられています。郵便局員からパンフレットを受け取った湊地区自主防災会会長の湯浅忠宏さんは、「過去の津波被害の教訓を思い起こすきっかけになりました。若い世代の方や福井町に移り住んできた人にぜひ読んでいただき、防災意識の高揚につなげてほしいです。」と話していました。

県南軟式野球競技会様から 車いす1台が寄贈される



2月12日、市役所で車いすの贈呈式が行われ、県南軟式野球競技会様から車いす1台が寄贈されました。同競技会では、毎年、市民福祉向上を目的にチャリティー大会を開催して、参加費の一部を車いすの購入費に充てています。会長の川田一裕さん(35歳・那賀川町)は、「車いすには若者たちの思いがこもっています。1人でも多くの方の役に立てばうれしいです。」と話していました。車いすは、市役所玄関に設置させていただきました。
(第6回横田めぐみ杯徳島県大会 参加チーム募集)
期日 3月10日(日) 申込締切日 3月8日(金)
圃 同競技会 川田(☎090-7572-9220)へ

明谷梅林開園 梅を愛でて春の行楽を楽しんで



県南最大の梅林として知られる梅の名所・明谷梅林が2月3日に開園しました。明谷梅林売店前で行われた開園式には約300人が訪れ、テープカットやもち投げで開園を祝いました。岩浅市長は、「情緒ある明谷梅林で梅を愛でていただき、幸せな気分になってほしい。」とあいさつ。明谷梅林保勝会会長の奥田國夫さん(69歳・長生町)は、「3月末まで花見を楽しむことができます。春の行楽として明谷梅林にお越しください。」と呼びかけました。
開園式の後、梅干しの種飛ばし大会が行われ、32人が挑戦。参加者は、テーブルの上に置かれた梅干しを味わった後、種を勢いよく飛ばして距離を競い合いました。

小回りの利いた目配り気配りで安全確保 長生地安会がバイクで町内パトロール



長生地域で交通安全や防犯活動に取り組む長生地域の安全を守る会の皆さんが、2月3日からミニバイクで町内を巡視するパトロール活動を始めました。「地域の安全を守る会」によるミニバイクでのパトロール活動は市内では初めて。小回りの利いた目配り、気配りで、地域の安全・安心を守る活動に期待が寄せられています。
パトロール活動を始めたのは同会副会長の浅野青史さん(64歳・長生町)。愛用のミニバイクに青色回転灯を取り付け、町内を巡視しました。「車より小回りが利き、道端で気軽に声をかけることができるのが便利。会員に呼びかけ、パトロール活動を広げていきたいです。」と話していました。

阿南西部公園 開園10周年を祝う



平成14年8月31日に開園した阿南西部公園(中大野町)が10周年を迎え、2月11日、同公園で記念式典が行われました。式典には、岩浅市長をはじめ73人の関係者が出席し、くす玉割りやもち投げで節目を祝いました。岩浅市長は詰めかけた約300人を前に、「開園以来、40万人近くの方に利用していただいています。西部公園ボランティア会の皆さんをはじめ、多くの方の献身的な努力のたまものです。」とあいさつ。西部公園ボランティア会会長の上原 肇さん(69歳・中大野町)は、「みんなで力を合わせて環境保全と美化に努めてきました。県南一美しい公園だと思っています。防災面でも活用できれば。」と話していました。

民間企業誘致に成功 那賀川町の市有地約4,200㎡を売却



中島漁業協同組合の種苗センター跡地に企業誘致を進めてきた本市は、バイオ科学株式会社との間で研究施設を立地することで合意し、2月7日、同社と覚書を交わしました。
売却した土地は、那賀川町工場の市有地約4,200㎡です。同社の計画では、海水取水設備などを活用して、輸出用飼料の開発や魚類のワクチン開発のための研究や蓄養施設を整備する予定で、岩浅市長と覚書を交わした同社、代表取締役社長の奥谷 亮さんは、「既存の設備を有効活用し、国際市場で流通できる商品開発に取り組んでいきたい。」と話していました。

阿南中学校校舎改築工事始まる 校舎棟の完成は平成26年3月末予定



1月25日、阿南中学校校舎改築工事の安全祈願祭が行われ、岩浅市長をはじめ56人の関係者が、工事期間中の安全と早期完成を祈願しました。
第1期工事では、主要諸室45室からなる校舎棟(3階建て・延床面積8,731.91㎡)と駐輪場が整備されます。太陽光発電による新エネルギーシステム(最大出力20kw)も導入し、生徒の環境教育の実践にも役立てられます。工事費は約21億1千万円で、平成26年3月末の完成をめざします。
また、第2期工事では、現在の校舎解体、屋内運動場(体育館)を建設し、平成27年度末までに、残る既存屋内運動場の解体や外構整備を行う予定です。